

課題設定 (体験・気付く)	ステージ1 (体験・気付く)	ステージ2 (考える・工夫する)	ステージ3 (まとめる)
<p><b>みんな なかよし</b> ともだちと なかよし</p> <p>①新しい友達、上級生などと楽しく遊ぶことを通して、学校生活でかかわる人たちに親しみをもつ。</p> <p><b>がっこうと なかよし</b></p> <p>②学校探検を通して、学校の施設やその生活を支えている人に対する愛着をもつ。</p> <p><b>いきものとなかよし</b></p> <p>③校内の自然と触れ合うことで、動植物の命やその大切さに気付く。【自然ビンゴ】</p> <p><b>はなや やさいと なかよし (1)</b></p> <p>④植物の観察や水やりを通して、植物の成長の変化に気付き、継続的に世話をする。</p> <p><b>がっこうにくる みち かえる みち</b></p> <p>⑤通学路の様子に関心をもち、自然のよさや自分たちの安全を守ってくれる人に気付く。</p>	<p><b>なつと なかよし</b> はなや やさいと なかよし (2)</p> <p>①育てている植物の成長を感じるとともに、継続して世話をすることへの意欲をもつ。</p> <p>②身の周りの花や実を使っての色水遊びを通して自然に親しみ、自分たちの生活を工夫して楽しむ。</p> <p>③校内の自然と触れ合うことで、季節の変化や夏のよさに気付く。【自然ビンゴ】</p> <p><b>おもしろい あそびが いっぱい</b></p> <p>④水遊びや砂遊び、シャボン玉あそびなどの季節の遊びを通して、夏への気付きを深め、友達とかかわりながら楽しく遊ぶ。</p> <p><b>なつはたのいいことがいっぱい</b></p> <p>⑤夏の思い出や楽しみ方について思い出し、初めての夏休みを迎えることをみんなで話しあう。</p>	<p><b>あきと なかよし</b> いきものとなかよし</p> <p>①校内の自然と触れ合ったり、虫探しをしたりして、季節の変化とともに生き物のすみかやえさ、体の様子などに関心をもつ。【自然ビンゴ】</p> <p><b>はなや やさいと なかよし (3)</b></p> <p>②育ててきた草花のたねとりや収穫などを通して、自然の不思議さに気付く。</p> <p><b>あきとあそぼう</b></p> <p>③公園などに行って、落ち葉や木の実、草花を見付け、諸感覚を使って秋を感じ身近な自然に親しむ。</p> <p><b>おいでよ あきの テーマパーク</b></p> <p>④作ったものを使って友達と楽しく遊ぶために、相手のことを考えて準備をしたり、自分の成長に気付いたりする。</p>	<p><b>ふゆとなかよし</b> ふゆとあそぼう</p> <p>①秋に比べて校庭や町の様子が変化してきたことに気付く。【自然ビンゴ】</p> <p>②昔あそびや風や影を使った遊び、雪や氷を使った遊びなどを通して、冬の季節のよさを全身で感じ取る。</p> <p><b>かぞくはなかよし</b></p> <p>③家庭生活にかかわる活動を通して、自分のできることを考えて進んで取り組む。</p> <p><b>もうすぐ 2年生</b></p> <p>④1年間の生活や学習を振り返る活動を通して、自分の成長に喜びを感じるとともに2年生への見通しをもつ。</p> <p><b>はるを さがそう</b></p> <p>⑤春の訪れを感じ、季節の変化に気付くとともに、友達や先生と共に過ごしてきた1年間の締めくくりをする。</p>
情報収集力		整理・比較力 表現力、発信・伝達力	
郷土愛、コミュニケーション能力			
<p>国語 「どうぞ よろしく」</p> <p>道徳 「ようこそ、一ねんせい」 (よりよい学校生活、集団生活の充実) 「がっこうにはね」(感謝)</p>	<p>国語 「はなのみち」</p> <p>道徳 「ほくのあさがお」(自然愛護)</p>	<p>国語 「しらせたいな、みせたいな」</p> <p>道徳 「みつけてみよう」 (伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度)</p>	<p>国語 「ともだちのこと、しらせよう」 「もののなまえ」 「ききたいな、ともだちのはなし」 「これは、なんでしょう」 「いいこといっぱい、いちねんせい」</p> <p>道徳 「もうすぐ二ねんせい」 (よりよい学校生活、集団生活の充実)</p>

### 単元目標

・1年間の生活や成長を振り返る活動を通して、小学生になってできるようになったこと、がんばってきたことなどを実感し、自分の成長に喜びを感じるとともに2年生への生活に見通しが持てるようになる。

### 児童の実態

知りたい、してみたい、という好奇心が旺盛な児童である。生活科の季節に関する授業を通し、自然の変化を身近に感じることができるようになってきた。摘んだ花や綺麗な落ち葉を見つけて伝え合ったり、スーパーの野菜売り場や家庭の食卓で、旬の食材に気付いたことを、朝の会で発表したりしている。生活科の自然観察や季節遊びの授業では、諸感覚を使って分かったことや、気付いたことを生活科カードに記録してきた。

本時では、生活科で経験したことについて、諸感覚を働かせて書いたメモを、同じ題材を選んだ児童同士で読み合う。友達のメモから、自分が気付かなかった感覚や思いを知り、グループで発表内容のイメージを膨らませて、発表会への意欲につなげたい。

### <単元観>

#### ①単元の概要

1年生は春夏秋冬の四季を通して様々なできごとを体験、体感してきている。

本単元ではこれまでに経験したできごとの中から1つの事柄を選び、ESD子供報告会で発表することをめあてとしている。諸感覚を意識して自分なりの言葉を使い、嬉しかったこと、楽しかったこと、頑張ったこと、成長したことなどを伝えられるようにしたい。

また、国語科「ともだちのこと、しらせよう」と関連させて展開する。身近なことや経験したことなどから話題を決め話したり、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いたりする力を、生活科での活動でも発揮し、互いに高め合いながら学習できるようにしていく。

#### ②本学習で育てたいESDの資質・能力

- ・諸感覚を通し、楽しかったことを友達と伝え合う力
- ・複数の対象について、ある視点（諸感覚）から共通点のあるもの同士をまとめる力

#### 【コミュニケーションを行う力】

- ・コミュニケーションすることのよさに気づき、それを様々な学習に生かそうとする力

### <誰一人取り残さないための工夫>

#### ○年間を通して取り組むこと

- ・諸感覚を使って自然に触れることを意識させるため、目、耳、鼻、手、心をマーク化し、それに沿って記述することができる。

#### ○話し合いの進め方

- ・国語で学んだ話し合いの進め方を活用することができる。
- ・司会の声掛けで一人一人が自分の考えを話し、それに対する質問や感想を話すことができる。
- ・諸感覚マークの付け方は、他の見方や考え方があればグループで話し合い修正することができる。

#### ○本単元での用語（指導案上）

- ・部屋…紙を諸感覚で仕切った一部
- ・諸感覚…感覚は5つより多くなったり少なくなったりする場合がある。
- ・付箋…メモ

### <情報活用能力の育成について>

#### ○重点とする能力

情報を取捨選択したり、分類・整理したりする力

#### ○方法

- ・付箋に書いたことについて話し合い、諸感覚で分類する。
- ・同じことが書かれた付箋は1つの部屋にまとめることができる。

### 単元の流れ

- ①学習の見通しをもつ。
- ②発表する項目を決める。
- ③自分の発表したいことを書く。
- ④書いた事柄を諸感覚で分類し、付箋に書く。
- ⑤グループで付箋を分類する。【本時】
- ⑥分類した付箋をもとに発表内容を構成する。
- ⑦ESD子供報告会に向けて準備をする。
- ⑧ESD子供報告会で発表する。

## 本時の目標

- 情報を取捨選択したり、分類・整理したりすることができる。
- 友達と話し合うことよさを振り返り、これからいかにそうとしている。

## 評価規準と手立て

### 評価規準 情報を整理・分析する力

- 知・技 : 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解し、情報を取捨選択する。
- 思・判・表 : 話すこと・聞くことにおいて、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。
- 態度人間性 : 相手の発言に関心をもって取り組んでいる。

### 授業観察の視点1【情報活用能力の育成の視点】

- 付箋に書いた事柄について、友達と話し合い、諸感覚で分類することにより、情報活用能力を育成できたか。
- ・基準をもって順番を入れ替えたいときに有効な手段として付箋を使い、分類しやすくした。
  - ・分類しやすいように、紙に仕切りを設けた。
  - ・今後、タブレットの使用に慣れ親しんだ上で、ムーブノートやロイロノートも活用していきたい。

### 授業観察の視点2【ESDにおける価値観育成の視点】

- 話し合いながら付箋を分類することで、互いを認め合ったり違いを受け入れたりすることよさに気づき、すすんで関わろうとする態度を育成できたか。
- ・目的が同じ少人数でのグループ活動にした。
  - ・主体的に活動できるように、子ども自身が発表項目を選んだ。
  - ・コミュニケーション力を高めるため常時活動や国語科の授業で、友達の話の聞いたり質問したりする活動を積極的に取り入れている。

## 学習の流れ

①  
導入

### ◆本時のめあての確認と活動の手順を知る。

はっぴょうしたいことを、グループでつたえあい、へやにいれてみよう。

②  
展開

### ◆発表したいことをグループで伝え合う。

T: マークを使って書いた文をグループで紹介し合います。グループの司会者が、諸感覚を順番に紹介し合えるように、進行しましょう。

### ◆質問内容を整理し、決定する。

T: どちらのへやに入るのか、話し合きましょう。  
S: 私は「目」にしたけど、「手」もありそうで迷っています。  
S: 「わかりました」は、「♡」ではなくて、キラキラ「♡」の方だと思います。  
T: マークを増やしたり、減らしたりしても、いいですね。  
えんぴつで、マークをかき足すといいですよ。  
T: メモがそれぞれの部屋に入ったのを見て、何か気付いたことはありますか。  
S: 「♡」と「□」が多かったです。  
S: 友達も自分と同じことを書いていました。  
S: 同じことを書いているけど、マークが違ってきます。

③  
終末

### ◆今日の学習を振り返る。

T: 今日の学習を終えて、感じたことを書きましょう。  
S: 友だちの考えを聞いて、マークをかき足しました。  
S: いろんなことを聞いて考えて、楽しかったです。